

会 議 録

会議名	平成28年度 第2回豊田市入札監視委員会		
日 時	平成28年11月11日(金) 午後3時～午後4時50分		
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 53会議室		
出席者	委員長 曾我部博之	総務部契約課	課 長 能見 秀行
	委 員 河野 伊知郎		副課長 大内 紀哉
	岡田 千絵		担当長 永田 浩晃
	丹羽 忠彦		担当長 近藤 正典
			担当長 村井 幸介
		上下水道局	副局長 伊藤 裕二
		上下水道局総務課	課 長 近藤 誠一
			副課長 石川 直美
			担当長 成瀬 孝紀

1 上下水道局副局長あいさつ

2 報告事項

(1) 平成28年度上半期の契約状況

◇市長部局

質 問	回 答
・不調不成立の発生率は、岡崎市や刈谷市など他市も同様に減少傾向にあるのか。	・他市の状況は把握していないが、国については不調不成立の発生率が減少傾向にあることは認識している。
・市内本店業者比率が0%の工種があるが、その理由は。	・工種により工事内容が特殊で市内業者で施工が困難な場合は、市外業者に発注していくこともある。
・総合評価方式での割合は増えているのか。	・入札制度など各年度で変更しているので、単純比較はできないが微増している。
・機械器具設置工事の内容はどのようなものか。	・今回は、すべてエレベーター改修工事である。
・その他業務委託での指名競争入札の落札率が低い理由は何か。	・草刈や樹木管理の委託で実施した一般競争入札の積算は歩掛等を採用しており、予定価格が推測しやすく、また参加業者が少なく高落札率となる傾向があり、一般競争入札の落札率を押し上げる形となり、結果、指名競争入札の落札率が低くなったと考えられる。

◇上下水道局

質 問	回 答
・水道関連の市内業者は少ないのか。	・減少傾向にあるが、現状、競争性は確保されている。
・RCCMとはどのような資格か。	・RCCMとは、(社)建設コンサルタンツ協会が認定する民間の資格である。

(2) 入札参加停止等の状況

質 問	回 答
・公正取引委員会が認定する課徴金減免制度とは。	・公正取引委員会に対し、自ら行った違反行為について捜査に協力した業者への課徴金の減免措置。
・売払い入札において、辞退理由から推測すると転売先を確保せずに入札に参加したということなのか。	・落札業者が現地確認不足で、落札後に物件の車体番号等が判別できない状況があることが判明し、予定していた転売先に売ることができなくなったため。

3 審議事項

(1) 平成28年9月議会案件

質 問	回 答
・JV対象工事における代表構成員の地域要件は、発注案件によって市内と市外に設定されているが、その違いは何か。	・地域内経済循環の観点から、原則、市内業者への発注としているが、対象案件の入札参加登録業者数が少なく競争性がない場合、また特殊な工事などにより市内業者での施工が困難な場合は、地域要件を拡大している。
・今回の対象工事は、豊田市内に複数参加できる業者はあったのか。	・7者程度は参加できる状況であったが、手持ち工事を抱える業者が多い時期であったため、応札が少なく1者になったと考えられる。 ・また、子どもが通う施設ということもあり、施工条件が厳しい工事であることも影響している。
・豊田市の総合点は毎年決めるのか。	・経審(P点)に豊田市の加算点を付与して、豊田市総合点として毎年決めている。
・他自治体でも同様の運用なのか。	・自治体により総合点の考え方は様々である。

(2) 委員選定案件等

質 問	回 答
・設計委託のプロポーザルにおいて、業者選定後に金額が変わることはあるのか。	・プロポーザルの案件であれば、通常、提案金額を提示することとなるが、プロポーザルはあくまで業者選定をするための評価のため、プロポーザルで選定した業者と実際の契約は随意契約となるため、選定業者の見積金額と予定価格が合わないことは想定される。

<p>・落札率が99%や100%になるもので、歩掛による設計は設計金額が推測されやすいということなのか</p>	<p>・愛知県等により積算基準が示されているため、設計金額を算定することが可能である。 ただし、参加業者が多い入札では、あらかじめ設定した最低制限価格ぎりぎりですべての業者もあつた。</p>
<p>・物品の買入において、落札率が低い案件について品質は担保されているのか。</p>	<p>・仕様書で示した製品の機能は納品検査を実施し、合格としており品質は確認している。</p>

4 その他

(1) 第3回委員会の開催予定について

第3回開催予定は、2月上旬を予定。第4回については、3月に意見具申を予定。